『魅力ある横

環境問題は避けて通れないと思います。町民総参加でまちをきれいにーと行っている「一日清掃」。でも、片付けた矢先からごみは次々と捨てられていくんです。これでは拾う人の心が踏みにじられるうえ、いつまでたってもごみとの戦いに終止符を打つことはできません。同じことの繰り返しではないでしょうか。住民も協力しています。町としても抜本的な対策をたてて欲しいものです。下水道の整備も早く行うべきだと思います。

まちづくりについてさまざまな意見交換

身近な公園と学童保育所

いま横芝では、坂田池の公園やスポーツ広場など、大きな事業が着々とすすめられています。でも、よく考えてみますと、身近な公園が少ないと思います。

確かに大きい公園やスポーツ広場も必要でしょう。しかし、子どもと手をつなぎ、歩いて行ける公園が少ないように思えてなりません。

また、お母さんが働いている場合、子どもは学校から帰っても家に誰もいないことになります。このような子どもたちを、公的な施設で〝遊ばせる・勉強もできる〟ようにしたらどうでしょう。ゲームセンターに通う子どもも少なくなるのではないでしょうか。

文化の香りあるまち

平成元年の秋、青年団が企画・開催したミュージカルを拝見して感じました。

20人そこそこの団員が、赤字覚悟でよくここまでやったなあーと。みんな感激していたからです。

都会と比べるのは無理だとしても、いい音楽や芝居、絵画などに数多く触れることは、情操豊かな人づくりに欠かせないことです。

町民文化祭でコンサートも開かれていますが、もっと回数を増やし、ほかの団体が主催するものでも、行政がバックアップできる体制をつくったらよいと感じました。

福祉の充実

永く社会のために尽くされた人たちの福祉対策も重要です。健康で、そして安心して余生を送れる環境をつくることは、若い世代に課せられた責任といってよいと思います。みんないつかは年寄りになるんですから。居ながらにして治療を受けられる在宅医療や福祉施設の充実も大切です。

同じ価値観で物事を考える

まちづくりをみんなで考えるには、『いま行政が直面している問題は何か、将来起こり得る問題はどんなものか』ということを住民が知らなければならないと思うのです。

さきほどからいろいろな意見がでていますが、横芝に住む人が同じ価値観で物事を考えているかというと、そうは思えないからです。

だとすればどうしたらよいか。行政の抱える問題を行政だけでなく、広く住民に投げかけ、ともに考え、ともに取り組むことが必要だと思うのです。

このような会が持たれ、そして回を重ねることによって、少しずつ、まちづくりの方針が見えてくるのだと思います。